

# 事務事業評価表

## 1. 基本事項

作成日 令和07年06月03日(火)

事務事業		常備消防施設維持管理事業			担当課	消防総務課	担当係	施設係	管理番号	50311	
総合計画	大項目	4	安心とやすらぎを感じられるまち			事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務				
	中項目	1	備えができ安全・安心なまちづくり			根拠法令 個別計画等	消防力の整備指針				
	小項目	2	消防・救急体制の充実								
	主要プロジェクト										
事業概要		市民が安全・安心に暮らせるよう、各種法令等に基づき適切に消防施設を維持管理することによって、災害発生時における消防活動拠点としての即応体制を維持、確保するものである。									
目的 ※何のために		市民が安全・安心に暮らせるため。									
対象 ※誰・何を対象に		消防施設									
手段 ※どのように		法令に基づく各種定期点検・保守点検を実施し、所管課による定期的な点検を行う。									
成果 ※何を求めるか		災害発生時における消防活動拠点としての即応体制を維持、確保する。									
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NP0等 <input type="checkbox"/> その他( )									
事務事業を構成する 予算事業		区分	款	項	目	細事業名		前年度決算額(円)			
		一般会計	9	消防費	1	消防費	3	消防施設費	常備消防施設維持管理事業〔消防総務課〕		69,404,814
		一般会計	9	消防費	1	消防費	3	消防施設費	常備消防施設維持管理事業〔建築住宅課〕		924,000
本事業の 主な業務		・ 庁舎、駐車場の許可					・ 庁舎光熱費、通信費の管理				
		・ 会議室の管理					・ 不用物品の処分				
		・ EMS関係書類の作成、報告					・ 寄付受納調整				
		・ 庁舎維持、保守、保守点検					・ 物品の賃貸借契約				
		・ 物品の購入契約、管理					・ 火の見櫓に関する調整				
		・ 行政財産の使用許可と調整					・				

## 2. 事業費(投入コスト)

※令和6年度は決算見込み額です。

単位: 円

区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
年度別計画	消防本部空調設備更新工事 旧川本分署解体工事	消防本部庁舎免震装置塗装改修工事 花園消防署発電機始動用蓄電池修繕	消防本部温水ヒーター設計業務委託			
事業費	予算(現額)	157,841,000	74,093,000	77,178,000	97,558,000	
	決算額	137,014,258	65,933,431	70,328,814	0	
	財源内訳	国支出金	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	
		地方債	0	0	0	
		他特定財源	0	35,332,274	34,299,084	47,248,000
	一般財源	137,014,258	30,601,157	36,029,730	50,310,000	
人件費	従事職員数(人)	0.80	0.80	1.30	1.12	
	人件費相当試算※	6,295,646	6,408,132	10,688,914	9,551,158	
総事業費試算		143,309,904	72,341,563	81,017,728	107,109,158	

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

### 3. 評価指標

区分	指標名		目標値	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	目標値の算定根拠/実績値の出所		実績値							
	実績値の算出式									
活動指標 1	施設修繕件数		目標値	件						
			実績値		25.00	41.00	30.00			
	目標値の算定根拠/実績値の出所			修繕の件数は、意図的に定めることができないため、目標値を定めることはできない。 / 当該年度実績						
	実績値の算出式									
活動指標 2	常時稼働施設数		目標値	箇所	8.00	8.00	8.00	8.00		
			実績値		8.00	8.00	8.00			
	目標値の算定根拠/実績値の出所			消防活動拠点機能を維持するため、常時稼働すべき施設数を目標としている。 / 当該年度実績						
	実績値の算出式									
活動指標 3	施設稼働日数		目標値	日	2,920.00	2,920.00	2,920.00	2,920.00		
			実績値		2,920.00	2,920.00	2,920.00			
	目標値の算定根拠/実績値の出所			常時災害に対応するため、8施設の稼働すべき日数を目標値としている。 / 1年365日						
	実績値の算出式									
			目標値							
			実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
			目標値							
			実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
			目標値							
			実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									

### 4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。  
 目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。  
 事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に適う成果がでているかを評価します。  
 (評価基準) (A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない)

#### (1) 事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	消防活動拠点としての各消防施設を常時稼働するため、日常的に職員による点検を実施するとともに、7月には建築基準法に準じた点検を実施することが出来た。また、突発的に発生した施設等に関わる不具合に対し、適切に修繕を実施することで、各消防施設が常時稼働させることが出来た。その中で、施設の竣工から経過年数が経っているものについては、今後、建替え整備及び長寿命化計画として、大規模な改修をする必要がある。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	A	各消防施設を常時稼働させ、各種災害対応に支障がなく運用できたことで、成果の設定は妥当であった。
			評価者 施設係長 藤野 透

#### (2) 事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。  
 (評価基準) (A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない)

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	今まで職員の手により行われていた施設及び設備の清掃業務について、民間へ委託することで職員の負担を減らし、その時間を災害対応訓練等の時間として有効活用が出来るようになった。
			評価者 施設係長 藤野 透